

## 歯科領域の鎮痛薬（内用）フォーミュラリ

分類	商品名／一般名	使用方法	薬価 ○ = 採用薬	特徴	注意点	禁忌
推奨	カロナール／ アセトアミノフェン	成人：1回 300～1000mg （上限：4000mg/日） 小児：1回10～15mg/kg （上限：60mg/kg/日） ※ 投与間隔：4～6時間以上	※ 後発薬のみ発売 （500mgあたり） ○ 原末：3.75～3.85円 ○ 錠剤：11.2～16.75円 ・ 顆粒：13.6～30.5円 ○ シロップ：122.5円	・ 安全性が高い ・ 副作用が少ない ・ 胃腸障害が少ない	・ 長期投与で1日総量1500mgを超過高用量の場合、定期的に肝機能等検査を行う ・ 4000mg/日以上で肝障害が発現	・ 重篤な肝障害 ・ アルコール多量摂取者
	ロキソニン／ ロキソプロフェンNa	成人：1回 60mg（1日3回） （頓服）1回 60～120mg	（60mgあたり） ・ 錠剤 10.4円（先発薬） ○ 錠剤 10.1円（後発薬） ・ 顆粒 8.28～12.96円	・ 鎮痛効果が高い ・ 胃腸障害が少ないプロドラッグ	・ 長期使用で消化器系や腎機能への影響に注意が必要 ・ 空腹時の服用は避けることが望ましい	・ 妊娠後期 ・ 消化性潰瘍 ・ 重篤な肝障害および腎障害
オプション	セレコックス／ セレコシブ	成人：初回のみ 400mg 以降1回 200mg（1日2回まで） ※ 投与間隔：6時間以上	（200mgあたり） ・ 31.5円（先発薬：200mg錠） ○ 7.9～14.7円（後発薬：200mg錠）	・ 鎮痛効果が高い ・ 消化性潰瘍リスクが低い	・ 心血管系血栓塞栓のリスクあり	・ 妊娠後期 ・ 消化性潰瘍 ・ 重篤な心筋梗塞、脳卒中等 ・ 冠動脈バイパス再建術の術後患者 ・ 重篤な心機能不全 ・ 重篤な肝障害および腎障害
その他の 適応がある薬剤  （その他の薬剤は、 特定の状況や患者の 状態に応じて使用され、 推奨薬やオプション薬 としては位置づけ ておりません）	ボルタレン／ ジクロフェナクNa	成人：1回 25mg（1日3～4回） （頓服）1回 25mg～50mg	（25mgあたり） ・ 錠剤 7.3円（先発薬） ○ 錠剤 5.9円（後発薬）	・ 鎮痛効果が高い	・ 消化性潰瘍、心血管系有害事象の副作用リスクが高い ・ 空腹時の服用は避けることが望ましい	・ 妊婦および妊娠の可能性がある者 ・ 消化性潰瘍 ・ 重篤な肝障害および腎障害 ・ 重篤な高血圧症および心障害 ・ インフルエンザ感染の脳炎・脳症 ・ トリテレン（トリアムテレン）服用中
	ナイキサン／ ナプロキセン	成人：1日300～600mg 分2～3 （頓服）1回 300mg	（100mgあたり） ○ 6.1円（先発薬 100mg錠のみ）	・ 抗炎症効果が高い ・ 腫瘍熱での効果報告あり	・ 併用注意の薬剤が多く使用しにくい ・ 長期使用により他の薬剤よりも、消化器系、腎臓、心血管系、肝臓への影響が高く、 <b>定期的検査が必要</b> ・ なるべく空腹時の服用は避けて服用	・ 妊娠後期 ・ 消化性潰瘍 ・ 重篤な肝障害および腎障害 ・ 重篤な高血圧症および心障害
	フロベン／ フルビプロフェン	成人：1回 40mg（1日3回） （頓服）1回 40～80mg	（40mgあたり） ・ 錠剤 15.7円（先発薬のみ）	・ 鎮痛効果が高い	・ 消化性潰瘍、腎障害、肝障害の副作用リスクが高い ・ 劇薬に指定されている	・ 妊娠後期 ・ ニューキノロン系抗菌薬との併用 ・ 消化性潰瘍 ・ 重篤な肝障害および腎障害 ・ 重篤な高血圧症および心障害

## 《参考文献》

- ・ 各種添付文書、インタビューフォーム（令和7年12月時点）
- ・ 歯科領域の鎮痛剤（内用剤）フォーミュラリ（日本フォーミュラリ学会）
- ・ PubMed：腫瘍熱治療のためのナプロキセン:PRISMA準拠のシステマティックレビューおよびメタアナリシス 2019 May;98(22):e15840. doi: 10.1097/MD.00000000000015840.